

5 指標で見る町の財政状況

地方公共団体の財政の健全に関する法律に基づき、健全化判断比率及び資金不足比率を算定し、公表することとなっています。

▼財政健全化法とは

地方公共団体の財政破綻を未然に

把握します。

防ぐため「早期健全化基準」と「財政再生基準」の2段階で、地方公共

● **早期健全化団体になると**

せん。また、一部を除き起債の制限をうけ、財政運営の計画が適合しないと認められる場合等において、総務大臣による予算の変更等の勧告が行われます。

団体の財政状況をチェックしています。

財政健全化計画の策定、外部監査要求の義務付け、実施状況を毎年度議会に報告して公表しなければなりません。

● **知名町は全て基準を下回る**

4つの財政健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）と、下

● **財政再生団体になると**

平成29年度の決算では、知名町はいずれの指標も早期健全化基準を下回っており、健全な財政運営に今後

水道事業や水道事業など公営企業については、資金不足比率を用いて地方公共団体の財政状況や経営状況を

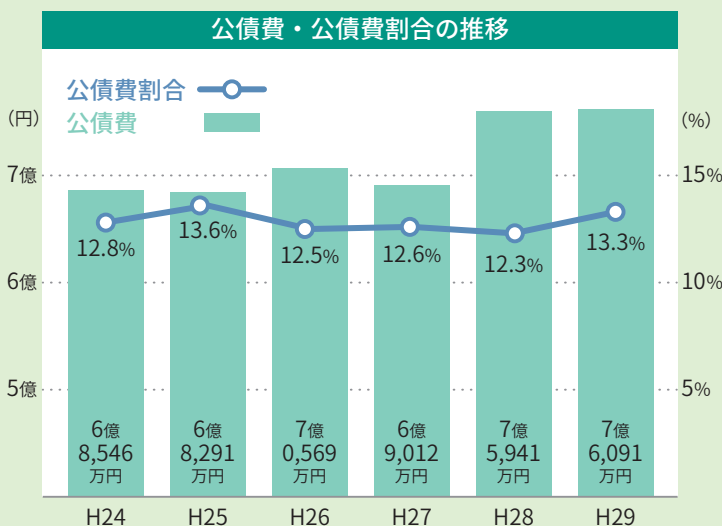
財政再生計画の策定、外部監査要求の義務付け、実施状況を毎年度議会に報告して公表しなければなりません。

も努めます。

指標	知名町	早期健全化	財政再生
実質赤字比率 一般会計等の赤字から財政運営の深刻度を見る比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率 全会計の合計が赤字の場合算出される財政運営の深刻度を見る比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率 借金の返済額などの大きさから将来の財政の圧迫度を見る比率	11.0%	25.0%	35.0%
将来負担率 一般会計等の負債の残高から将来の財政への圧迫度を見る比率	67.6%	350.0%	—

実質赤字額は生じていません。

資金不足比率 公営企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る指標	全ての公営企業会計で資金不足は発生していません。
---	---------------------------------



沖永良部衛生管理組合の「財政事情」の公表について

1 平成29年度決算について

平成29年度の歳入歳出決算が9月定例会で承認されました。

一般会計では歳入決算額が282,173千円、歳出決算額が282,157千円となりました。これは、前年度と比較すると歳入で△51,433千円（△15%）、歳出で△51,414千円（△15%）となりました。

今後ともごみ分別の啓発活動や日々の運転管理、日常の補修や整備を行い各施設の更なる延命化と廃棄物の適正処理に努めてまいりたいと思います。

2 平成29年度特別会計の決算額

会計名	収入	支出
と畜場特別会計	4,111	4,108

(単位：千円)

3 公有財産状況（平成29年度末現在）

会計別	一般会計	と畜場会計
車両等	7台	0台
土地	96,346㎡	3,867.28㎡
建物	33,733.75㎡	554.60㎡
基金	47,177千円	1,582千円